

## SSH課題研究ルーブリック

ver.2(20210907)

項目	段階	大幅に改善を要するレベル	やや改善を要するレベル	高校生の研究として標準的レベル	高いレベル	非常に高いレベル
		1	2	3	4	5
1	課題の設定	問いを設定できていない。	問いは設定できているが、仮説を立てられていない。	問いを設定できている上、仮説も立てられている。	問いを設定できている上、検証できる絞り込んだ仮説が立てられている。	社会的・学術的に非常に意義深い問いと仮説が設定できている。大学生の研究にも引け取らないレベルの問い・仮説が設定できている。
2	調査研究の立案と実施	抽象的な計画にとどまり、実施が困難である。	計画は立てているが、問題点があっても特に改善することなく、ただ単に実験を進めるだけである。	計画の不十分な点を教員・大人の助言などを元に改善しようとした。	計画の不十分な点に自ら気づき、回数をこなし、計画を変更・見直しするなど、チャレンジし続ける。	課題解決に必要な条件・精度・具体性を意識した計画を立てられている。更に、実施の度に振り返り、計画を修正するなど、大学生の研究にも匹敵するレベルである。
3	情報収集と情報の評価	データの記録にとどまり、活用に至っていない。	集めたデータをまとめているが、過不足があり、再現性が乏しい。	実験データが妥当であり、量も十分であり、再現性が期待できる。	データの提示と解釈が極めて正確に行われており、誤差についても検討している。	データの提示と解釈が極めて正確に行われており、誤差についても検討が行われている。更に、他者が容易に理解できるようにまとめられている。
4	結果からの考察	結果と考察が分離できていない。考察ができていない。結果から読み取れてない飛躍した考察が行われている。	結果について考察できているが、多面的でない。根拠が不十分である。	結果から事実や証拠に基づく論理的な考察ができている。	論理的な考察ができており、先行研究との比較検討がなされ、次の課題発見ができています。	論理的な考察ができており、先行研究との比較検討がなされ、研究結果が後に大いに参照されるレベルである。次の課題発見もできています。
5	発表	資料やプレゼンに統一感がなく、伝えたいことが不明である。	収集した情報や考察を資料にまとめ、プレゼンをすることができるが、羅列に終始している。	情報の取捨選択をし、概念図・グラフを用いて必要な情報を論理的にまとめている。	情報の取捨選択をし、概念図・グラフを用いて必要な情報を論理的にまとめている上、効果的に伝えるために工夫がある。	情報の取捨選択をし、概念図・グラフを用いて必要な情報を論理的にまとめている。効果的に伝えるための工夫があり、発表時の声や態度が聴衆の関心を高めるものである。